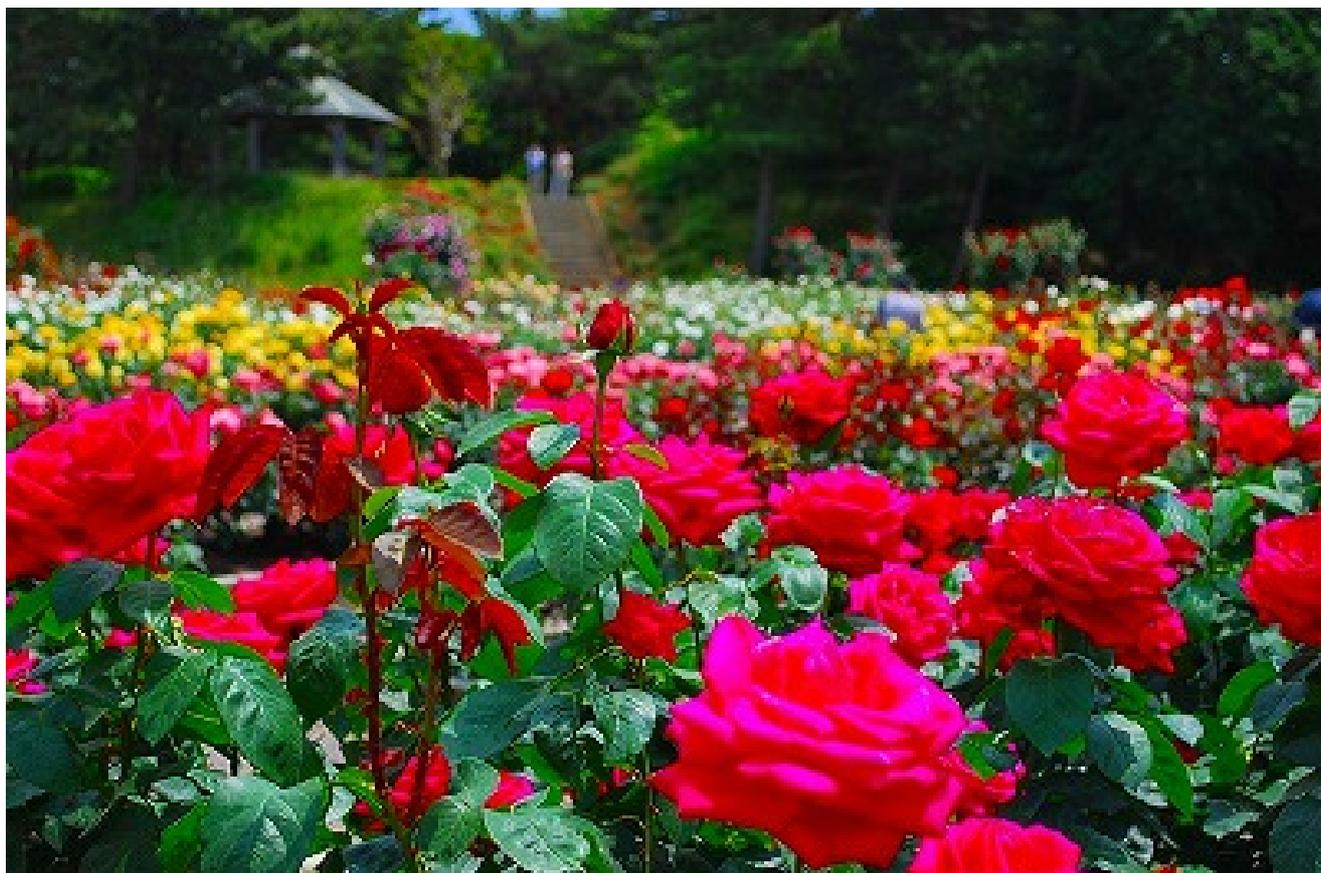




127品種、4,000株

一足早い初夏の訪れ

「花の女王」 “バラ” 満開



平成21年5月23日撮影

ひたち海浜公園のローズガーデンで、初夏の風物詩 “バラ”が、早くも**満開**となりました。
 ここ数日の真夏日のような暑さが続き、一気に開花が早まりました。

ローズガーデンに足を踏み入ると、まず漂ってくるその香りに驚かされ、そして、目の前に広がる艶やかな色に圧倒されます。丹精込めた管理により、色鮮やかな大輪の花を咲かせる姿は、まさに「**花の女王**」と呼ばれるにふさわしい気品に溢れております。「県内屈指のバラの名所」として、愛好家からも高い評価をいただいております、ひたち海浜公園のローズガーデンに是非、お越しください。

なお、バラは現在満開で、6月下旬まで初夏の公園を華麗に彩ります。

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
 ひたち公園管理センター企画課 穂積^{こあくつ}・小堆・鈴木
 電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001
 ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

「花の女王」 “バラ”

開花：5月中旬～6月下旬

【ひたち海浜公園のローズガーデン】

ローズガーデンは平成3年10月の本公園のオープンより、数多くのお客様にお楽しみいただいています。

ガーデン内には127品種4,000株(2,700㎡)のバラが植えられ、海からの強い風からバラを守るため、周囲はウバメガシの高垣で囲われています。また、ガーデン全体はアーチや噴水のある西洋庭園風となっています。



平成21年5月23日撮影

【茨城県の県花 バラ】

茨城県の県名は、県成立時に県庁所在地が置かれた場所（水戸）の郡名が茨城郡であったことに由来しています。そして、そもそもの「茨城」が、「常陸國風土記」の茨城郡条に記述された、黒坂命が茨（うばら）で城を築き賊を退治した説話に由来していることから、茨城県の県花は「バラ」と定められました。



平成21年5月23日撮影

【バラ科バラ属 落葉低木】

現在、園芸品種は3万種以上とされていますが、その元となったのは約120種ある野生種のうちわずか8種類とされています。品種改良の積み重ねによって、現在のさまざまなバラを楽しむようになりました。

バラはスタンダード仕立てやポール仕立てなど、様々な仕立て方があり、品種によっては毎年、初夏（例年5月下旬頃開花）と秋（例年10月上旬頃開花）の2シーズン楽しむことができます。

■ひたち海浜公園おすすめのバラ

夏に向かって暑い日が続くこれからの季節、こんな涼しげな色のバラはいかがですか？

ローズガーデンでも奥のほうにひっそり咲く「ブルームーン」は、ひそかに人気のバラです。



ブルームーン

平成21年5月24日撮影



涼しげなバラを見ても、夏の暑さが吹き飛ばないなら・・・ローズガーデンのすぐ近くの水遊び広場で涼みましょう。



平成 21 年 5 月 23 日撮影